

# CSB (遠心ボックスカルバート)

(財)土木研究センター・土木系材料技術・技術審査証明 認定番号第0514号

(T-25対応)

## CSBの特長

### ■高強度です。

遠心成形製法で均一な品質、高い強度を誇り土被り0から高土被りまで広範囲な現場に対応できます。

### ■経済的です。

現場での補強コンクリートが不要、埋戻しが容易で工期の短縮、工費の削減等従来の工事に比べて大幅な省力化になります。

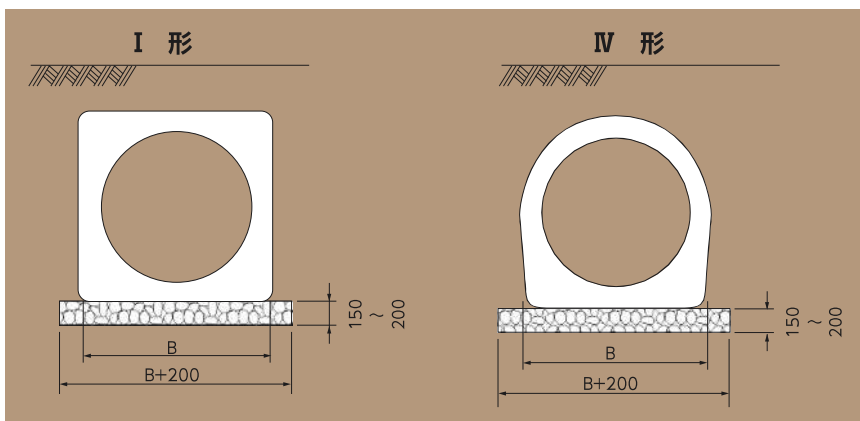
### ■継手の水密性に優れています。

継手の形状寸法は、ヒューム管のB形と同じで水密性に優れ、B形管との接合も可能です。

### ■側溝用もあります。

側溝用として、グレーチングを取り付けたものもあります。

## 標準敷設図



### 基礎コンクリートは不要です

但し、軟弱地盤の場合は、基礎コンクリートが必要です。  
その際、コンクリート厚は最小150~200mmとするのが望ましい。



建設技術審査証明書

**Hi-CSB** 土被り15~50m以上に使用します。



I形の角部を上下位置として、超高土破りに対応できる工法です。土圧は、45°の面に均等に作用するので、大きな土圧に耐えられます。



CSBI及びIV形はヒューム管と同じ継手。接続が簡単で、自由に配置できます。

# CSBの歩掛と許容土かぶり

(T-25対応)

## CSBの歩掛(I, IV形共通) 10mあたり

呼び径	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	トラッククレーンの 運転日数(日)	諸雑費	トラッククレーンの規格	
						I形、III形	IV形
150	0.17	0.33	0.33	0.18	労務費 の1%	4.9t吊	4.9t吊
200	0.17	0.34	0.34	0.19			
250	0.18	0.34	0.34	0.19			
300	0.18	0.36	0.36	0.20			
350	0.18	0.36	0.54	0.20			
400	0.19	0.37	0.56	0.20		16t吊	16t吊
450	0.19	0.39	0.58	0.21			
500	0.20	0.40	0.59	0.22			
600	0.21	0.42	0.84	0.23			
700	0.22	0.44	0.88	0.24			
800	0.23	0.46	0.92	0.25			
900	0.24	0.48	0.97	0.26			
1 000	0.26	0.52	1.03	0.28			
1 100	0.27	0.54	1.08	0.29			

- 注) 1. 本歩掛りは、運搬距離20m程度の小運搬、CSBの接合、据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し、水替等は含まない。  
 2. 吊りおろし、据付け作業は使用する機械により左右されますが、上表に示すクレーンを使用して、連続して作業出来る場合です。  
 3. 諸雑費は、滑材及びレバーブロック等の費用であり、労務費の合計に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。ただし、管切断費用及び管損失費用は含まない。

## 許容土かぶり



- 注) 1. 図は、安全率1.25として作成してあります。  
 2. 土の単位重量は18kN/m<sup>3</sup>、土の内部摩擦角度はφ=30°、活荷重はT-25を見込んであります。  
 3. 盛土工法の垂直土圧式はマーストン式を用いています。  
 4. 比較として示したヒューム管は、180°コンクリート基礎の場合であります。

CSB